

ベンチャーデットを通じたスタートアップ成長支援及び地域企業のDX・AI活用支援 ～株式会社調和技研への新株予約権付融資～

- 北海道では人口減少や人手不足が進行する中、地域企業の生産性向上やDX・AI活用が喫緊の課題となっている。一方で、高度なAI技術や人材は首都圏に集中し、地域発スタートアップによる先端技術の事業化と成長には、リスクマネー供給と非金融面の支援の両面が求められていた。
- (株)調和技研は、北海道大学発の認定スタートアップとして、多様な業種・業界に対し、個社別に最適化されたAIモデル・AIエージェントの開発・導入支援を行い、北海道から全国、そして世界へと事業拡大を加速している。
- 当行は、日本政策金融公庫と連携し、「北洋ベンチャーデット」による新株予約権付融資を通じて、同社の成長資金ニーズに応えるとともに、当行グループのネットワークや情報力を活用し、道内企業のDX・AI活用支援を一層推進することで、地域金融力を発揮し、地域経済の活性化に貢献している。

協調融資

- (株)調和技研は、170件を超えるAI開発実績と研究開発力を強みとして、生成AIやAIエージェントなどの先端AI技術を活用し、日本の中小企業の生産性向上とDX・AXの推進を支援するソリューションの開発・提供に取り組んでいる。
- 当行はこれまで「北洋SDGs推進ファンド」を通じた出資により同社を支援してきたが、今般、日本政策金融公庫と協調し、「北洋ベンチャーデット」により新株予約権付融資6,000万円を実行し、成長ステージに応じた資金調達手段の多様化と財務基盤の強化を後押しした。
- 本件は、金融庁「地域金融力強化プラン」が掲げる「内外のプレイヤーとの連携を通じた中堅企業等への成長支援」および「スタートアップ企業等の成長企業の資金調達支援」に沿った取組であり、地域金融機関と政府系金融機関による協調投融資の具体例となる。

